

令和4年度

置賜総合支庁運営プログラム

令和4年8月
置賜総合支庁

令和4年度 置賜総合支庁施策体系

I 第4次山形県総合発展計画の推進

1 「置賜」地域の総合力を結集した高付加価値産業群への進化

- ① 高い付加価値を創出するものづくり産業の競争力の強化
- ② 競争力の高い稼げる農業と「農と食」の連携による魅力の向上
- ③ 置賜版「森林ノミクス」の展開
- ④ 置賜ならではの資源を戦略的に活用した誘客の促進とインバウンドの拡大

2 「置賜」の持続的発展を支える、活力あふれる地域社会の形成

- ⑤ 結婚支援や妊娠・出産から子育てまでの切れ目のない支援体制の推進
- ⑥ 幅広い世代が住み慣れた地域で、健康で安心して暮らすための取組みの推進
- ⑦ 郷土愛を育み、互いに輝きあう地域づくりの推進

3 人々の交流で賑わう「置賜」を支え、地域の価値を高める社会基盤の形成

- ⑧ 高速交通ネットワークの形成促進
- ⑨ 地域公共交通の充実・確保
- ⑩ 再生可能エネルギーの導入促進による脱炭素社会形成の推進
- ⑪ 安全・安心で暮らせる地域づくりの推進

令和4年度 置賜総合支庁 主要事業

I 第4次山形県総合発展計画の推進

1 「置賜」地域の総合力を結集した高付加価値産業群への進化

施策の推進方向と主な取組み

① 高い付加価値を創出するものづくり産業の競争力の強化

K P I	置賜地域の製造業付加価値額					
		基準値 (H29 年度) : 2,422 億円				
	指標値	R 2 2,543 億円	R 3 2,664 億円	R 4 2,785 億円	R 5 2,906 億円	R 6 3,027 億円
	実績値	2,648 億円 (R 元速報 : H31/1~R1/12)	—			
	置賜地域における企業連携数 (累計)					
		基準値 (R1 年度) : 1 グループ				
	指標値	R 2 2 グループ	R 3 3 グループ	R 4 4 グループ	R 5 5 グループ	R 6 6 グループ
	実績値	2 グループ	3 グループ			

【令和4年度における課題と対応 (前年度からの見直し・新たな取組みの内容)】

(課題)

- ・付加価値の創出・拡大を図るため、山形大学工学部が有する新技術等の地元企業への移転・普及や、新商品の開発、受注の拡大等に向けて企業間の連携を進めていくことが必要
- ・地域企業の付加価値向上の担い手として地域を支える産業人材を確保し、高度な人材へと育成することが必要

(対応)

- ・地元企業の連携による地域ものづくり産業の付加価値向上
 - ⇒山形大学工学部が有する新技術等の移転促進のための勉強会の開催
 - ⇒管内企業グループの立ち上げにつなげる勉強会や、企業が共同で行う製品開発や取引拡大等に向けた活動への支援
- ・地域を支える産業人材の確保・育成
 - ⇒地元就業を促進するための企業説明会について、引き続き管内3大学の学生及び4実業高校の生徒を対象とし実施するが、コロナ禍にあっても事業を実施できるよう、オンラインを活用した事業内容も併せて検討
 - ⇒企業が学校に出向き仕事を模擬的に体験してもらう職業体験会について、より早い段階からの取組となるよう、高校生に加え中学生も対象として実施
 - ⇒若手技術者の技術力向上のための講座の開催や高校生のロボット製作学習等の実施を支援

【令和4年度関連事務事業】

(単位：千円)

事業名	予算額 (前年度)	区分	事業概要
地域中小企業連携促進事業費(置賜高付加価値産業創出支援事業)	475 (475)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	・山形大学工学部が有する新技術等に関する勉強会、地域企業の生産性向上に向けたセミナー等の開催支援 (本庁予算)
地域中小企業連携促進事業費(次代を見据えた連携促進・新分野進出支援事業)	187 (187)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	・管内企業グループの立ち上げにつなげる勉強会の開催、企業が共同で行う製品開発・取引拡大等に向けた活動への支援 (本庁予算)
地域若者人材確保対策事業費(置賜次代を担うものづくり人材育成支援事業)	400 (475)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	・若年技術者を対象とした制御技術等を学ぶ研修会や、高校生が地域企業の協力のもと行うロボット製作学習等への支援 (本庁予算)
地域若者人材確保対策事業費(置賜地域人材確保対策事業)	1,224 (674)	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続	・管内3大学の学生とその保護者及び4実業高校の生徒を対象とした企業見学会(バスツアー)の開催 ・中高生を対象とした、職業体験会(ワクワクワーク)の開催 (本庁予算)
人材確保・生産性向上推進事業費(新卒者等早期離職防止事業)	164 (164)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	・新卒者等の離職防止に向けて、企業経営者が若者の考え方を理解しなすべきことを学ぶ「経営者セミナー」及び入社3年目までの社員を対象とした交流会の開催 (本庁予算)
人材確保・生産性向上推進事業費(高校生と地域企業との交流事業)	96 (96)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	・進学校の高校生を対象とした地域の事業者等による地域の企業や就業環境の魅力を伝える講演会の開催 (本庁予算)
計	2,546 (2,071)		

② 競争力の高い稼げる農業と「農と食」の連携による魅力の向上

K P I	園芸振興作物（9品目）の産出額					
		基準値（H30年度）： 25.5億円				
	指標値	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
		26.3 億円	27.2 億円	28.1 億円	29.0 億円	30.0 億円
	実績値	33.0 億円	26.9 億円			
	繁殖雌牛頭数					
		基準値（H30年）： 2,819頭				
	指標値	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
		2,950 頭	3,000 頭	3,050 頭	3,080 頭	3,100 頭
	実績値	2,892頭	2,956頭			
	地域農産物を活用した新商品の開発数（累計）					
		基準値（R1年度）： 6点				
	指標値	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
		11点	16点	21点	26点	31点
	実績値	11点	16点			
	生産基盤整備事業計画地区及び実施地区における新たな作物の導入面積（累計）					
	基準値（H30年度）： 20ha					
指標値	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	
	37ha	56ha	83ha	102ha	124ha	
実績値	24.6ha	32.1ha				

【令和4年度における課題と対応（前年度からの見直し・新たな取組みの内容）】

<p>（課題）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 気象変動に対応し、作柄・品質の安定化を図る。スマート農業技術の周知を図り、導入効果の検証が必要 ・ アスパラガスでは産地拡大のため、継続した新規栽培者の掘り起こしが必要 ・ えだまめは更なる産地拡大のため、規模拡大の誘導等による長期安定出荷体制の構築が必要 ・ シャインマスカットは品質の高位平準化による県域での産地ブランドの確立が必要 ・ さくらんぼを中心に果樹の防霜対策の強化による結実確保・安定生産の推進が必要 ・ ダリアのハウス栽培における安定生産のための栽培体系の見直し・検討が必要 ・ 伝統野菜の利用拡大に向けて、実需者・一般消費者が理解を深める機会の創出が必要 ・ 繁殖農家の子牛の生産性向上を図るため、繁殖雌牛の分娩間隔の改善が必要（置賜平均 421日、県平均 409日）。併せて、繁殖牛の吸血昆虫に起因する放牧ストレスの軽減技術を向上さ
--

<p>せるため、ゼブラ柄塗装の持続性の改善が必要（現状1週間→目標1か月）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ウィズ・ポストコロナに対応した販売手法や商品開発への取組が必要 ・基盤整備地区における営農検討会の開催やJA、市町等が連携して取り組む実証栽培を活用した栽培技術の普及・定着、販路の確保などによる作付面積の拡大が必要 <p>（対応）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「つや姫」、「雪若丸」ブランド評価の維持 <ul style="list-style-type: none"> ⇒高品質、良食味米の安定生産に向けて、食味実証や、スマート農業実証、栽培講習会、各種研修会を開催し、産米の評価向上、安定生産を図る ・園芸作物の産出額向上 <ul style="list-style-type: none"> ⇒アスパラガスでは、新規栽培者の掘り起こし、モデル圃場の設置と活用の継続実施 ⇒えだまめでは、研修会の開催、経営モデルの作成等による規模拡大の誘導 ⇒シャインマスカットでは、県シャインマスカットPJ会議の取組みと連動した高品質生産に向けた技術支援や有利販売対策の推進 ⇒さくらんぼ等では「果樹凍霜害防止対策マニュアル」を活用した技術指導、リターンスタックヒーターなどの防霜対策効果の現地実証 ⇒ダリアの定植時期・摘心方法の実証ほの設置による長期出荷体系の検討 ・山形おきたま伝統野菜の振興 <ul style="list-style-type: none"> ⇒道の駅や飲食店との連携によるフェアの開催、オンライン料理教室の開催 ・繁殖農家の生産性向上 <ul style="list-style-type: none"> ⇒引き続き、分娩間隔の短縮化に向けて、子牛への「へら型鼻かん」装着と母牛へのホルモン剤投与を使った、母子同居による離乳技術をモデル的に実施するとともに、放牧時の吸血昆虫対策として、より持続性が高いゼブラ柄塗装等の方法を検証 ・新商品開発・販売拡大への支援 <ul style="list-style-type: none"> ⇒ネット販売で売上げを伸ばす方法に加えネット販売と実店舗を組み合わせた販売手法や地域の特色ある農産加工品の開発等に係る研修会の開催等 ・生産基盤整備事業計画地区及び実施地区における新たな作物の導入 <ul style="list-style-type: none"> ⇒事業計画時に開催している地区ごとの営農検討会を事業実施中及び完了時も継続して開催し、土地条件や営農実態に即した営農モデルの検討、耕畜連携などを支援
--

【令和4年度関連事務事業】

（単位：千円）

事業名	予算額 (前年度)	区分	事業概要
第3期山形枝豆 日本一産地化プロジェクト事業 費ほか（置賜園芸 産地強化支援事業）	613 (613)	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続	<ul style="list-style-type: none"> ・えだまめ 規模拡大を想定したえだまめ経営指標の作成 【新規】 ・アスパラガス 堆肥運搬や病虫害防除の省力化のための幅広 通路の実証ほの設置 ・ダリア 長期出荷体系の実証 <p style="text-align: right;">（本庁予算）</p>
地域園芸産地技 術開発・支援事業 費	1,263 (1,283)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	<ul style="list-style-type: none"> ・アルストロメリア 置賜地域の適応性品種の選定 ・ダリア 良日持ち性品種の置賜地域における適応性調査 <p style="text-align: right;">（本庁予算）</p>

地域農業振興会議費	1,738 (1,738)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	・えだまめ：新規栽培者等研修会の開催 ・アスパラガス：モデル圃場の設置 ・きゅうり：新規栽培者等研修会の開催
食の至宝雪国やまがた伝統野菜推進事業費（山形おきたま伝統野菜振興事業）	267 (267)	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続	・新たな伝統野菜の認定等に係る協議会の開催、道の駅や飲食店等との連携によるプロモーションの実施、オンライン料理教室の開催【新規】 (本庁予算)
やまがたの和牛増頭戦略事業費（おきたまの和牛増頭事業）	516 (516)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	・母子同居による離乳技術をモデル的に実施（子牛への「へら型鼻かん」装着と母牛へのホルモン剤投与で離乳を促す） (本庁予算)
自給飼料生産対策事業費（耕畜連携による簡易放牧拡大事業）	200 (200)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	・吸血昆虫による牛の放牧ストレスを軽減するため、ゼブラ柄に塗装する技術をモデル的に実施（塗装の持続性及び集団内行動の変容に関する検証） (本庁予算)
6次産業化総合推進事業費ほか（おきたま6次産業化推進事業）	436 (436)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	・ネット販売で売上げを伸ばす方法に加えネット販売と実店舗を組み合わせた販売手法についての研修会の開催等 ・農家民宿をPRするパンフレットの作成・配布 (本庁予算)
水田畑地化基盤強化対策事業費（栽培実証ほ調査）	3,000 (2,000)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	・新たな作物導入に必要な栽培技術の実証展示を通じて、高収益・高品質を確保する栽培技術の普及、流通・販売までを総合的に支援 (本庁予算)
計	8,033 (7,053)		

③ 置賜版「森林ノミクス」の展開

K P I	置賜産材の木材（素材）生産量					
		基準値（H30年度）： 109千m ³				
	指標値	R 2 135 千m ³	R 3 140 千m ³	R 4 145 千m ³	R 5 150 千m ³	R 6 155 千m ³
	実績値	104千m ³	101千m ³			

【令和4年度における課題と対応（前年度からの見直し・新たな取組みの内容）】

<p>（課題）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・置賜産木材の生産量の増加を図るためには、森林施業の集約化、路網の整備、高性能林業機械等の活用による計画的な森林整備が必要 ・住宅、非住宅、公共施設での木材利用を進めるとともに、品質・性能が確かな製材品の利用拡大が必要 ・県民全体で森林資源を率先利用する意識の醸成が必要 <p>（対応）</p>

- ・ 森林施業集約化の前提となる森林境界の明確化
 - ⇒従来の境界明確化の手法に加え、立会い及び測量作業の効率化が可能な航空レーザー測量等の活用により測量を進め、置賜全体での森林境界明確化を加速
- ・ 木材の搬出等に必要な路網の整備
 - ⇒林道開設事業において、白鷹町の白鷹東部線、小国町の沼沢線の2路線を継続して開設するなど、木材搬出等の基盤を整備
- ・ 森林施業の効率化を図る高性能林業機械の導入
 - ⇒県が「やまがた森林と緑の推進機構」に委託している高性能林業機械のレンタル経費の支援により管内林業事業体の生産性の向上を図る。
- ・ 住宅、非住宅、公共施設での木材利用
 - ⇒置賜「地材地住」ネットワークと連携し、置賜産木材を活用した住宅、店舗等の非住宅施設の建築をPRするとともに、木造公共施設の視察研修会の開催により公共施設での木材利用を推進
 - ⇒県産木材を活用した住宅、店舗等の非住宅施設の建築に対する支援を実施
 - ⇒木材産業協同組合などの関係団体と連携しJAS認証材等の品質・性能の確かな置賜産材の建築事業者への普及を図る。
- ・ 森づくり体験プログラムの開発
 - ⇒多様な主体による県民参加の森づくり活動の更なる促進
 - ⇒森づくり体験を行うための新たなプログラムを開発し、源流の森で森づくり活動の指導を行う「森の案内人」の養成と能力向上を図る。

【令和4年度関連事務事業】

(単位：千円)

事業名	予算額 (前年度)	区分	事業概要
やまがた森林ノミクス木材利用推進事業費(置賜産材需給安定化対策事業)	217 (217)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	・置賜産木材の安定的な供給体制の構築に向けた検討会議(テーマ:メーリングリストの活用による広葉樹の需給情報のマッチング)の開催、素材生産量等の実態調査 (本庁予算)
森林病虫害防除事業費(「置賜の森をみんなの手で」事業)	300 (300)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	・置賜地域の森林病虫害獣被害の拡大抑制、軽減及び新たな被害発生阻止を図るため、クマハギ被害防除研修会等の「置賜森林病虫害獣対策協議会」の活動の支援 (本庁予算)
おきたま源流の森づくり活動推進事業費	323 (323)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	・県民参加の森づくりの推進に向けた森づくり体験プログラムの開発【新規】及び森づくり活動等の指導者の育成・確保 (本庁予算)
計	840 (840)		

④ 置賜ならではの資源を戦略的に活用した誘客の促進とインバウンドの拡大

K P I	観光者数					
		基準値 (H30 年度) : 8,990 千人				
	指標値	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
		—	—	— ※1	9,500 千人	9,600 千人
	実績値	5,806 千人 (直近値)	—			
	外国人旅行者受入数					
		基準値 (H30 年) : 15,686 人				
	指標値	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
		—	—	— ※2	33,000 人	38,000 人
	実績値	7,753 人	1,045 人 (速報値)			

※1 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に伴う観光イベントの中止や規模縮小、県境を越える移動の自粛など、今年度の動向について見通すことが引き続き困難であるため。

※2 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に係る入国制限が行われており、今年度の動向について見通すことが困難であるため。

【令和4年度における課題と対応（前年度からの見直し・新たな取組みの内容）】

（課題）

- ア〔ターゲットの見極め〕新型コロナウイルス感染症の感染状況を見極めながら、誘客ターゲットを検討することが必要
- イ〔コンテンツ開発〕置賜ならではの新しい旅行スタイルにマッチした観光コンテンツを開発していくことが必要
- ウ〔周遊対策〕山形新幹線・東北中央道沿線から、西置賜を含めた域内への周遊を促す取組みが必要
- エ〔冬季対策強化〕グリーン期に比べ、入込客が減少する冬の誘客拡大に一層取り組むことが必要
- オ〔インバウンド〕観光目的の入国解禁に備え、受入態勢の整備を進めることが必要

（対応）

- ア 県民や近隣県からの観光客をターゲットにした誘客企画の実施
 - ⇒置賜地域への再訪を促すためのリピーターへの優待企画の実施
 - ⇒スマートフォンアプリを活用した地域内周遊対策や管内旅客動向の分析の実施
 - ⇒県内や近隣県からプロモーション活動を行い、感染状況を見ながら全国へ活動エリアを拡大
- イ 「道の駅米沢」や「高速道路環状ネットワーク」等を活用し、各市町や関係機関との連携のもと、置賜地域ならではの観光資源を生かした誘客対策を推進し、置賜地域全体への周遊や滞在を促進
 - ⇒道の駅米沢のデジタルサイネージ等を用いた情報発信の強化やイベントナビカードの充実
 - ⇒「伊達四十八館」を活用した観光誘客の実施

⇒県内4地域のうち唯一全市町にある鉄道駅を活用したスタンプラリーの実施等
ウ 西置賜への誘客対策の促進 ⇒西置賜の地域資源をPRするパンフレットの作成
エ 県内他地域や隣接県との広域観光連携の推進 ⇒相互の情報発信や誘客企画の検討・実施
オ 外国人観光客の受入態勢整備の促進 ⇒口コミ投稿型サイトやSNS、OTAを活用した、効果的な情報発信を学ぶセミナーの開催 ⇒駅から観光スポットまでの定額タクシー等による二次交通の実証実験の実施

【令和4年度関連事務事業】

(単位：千円)

事業名	予算額 (前年度)	区分	事業概要
観光振興推進事業費(置賜広域観光推進事業)	2,100 (2,100)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	・山形おきたま観光協議会及びやまがた冬のあった回廊キャンペーン実行委員会の運営支援 ・置賜さくら回廊観光推進会議の取組支援
地域広域観光推進事業費	2,274 (2,274)	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続	・県民や近隣県をターゲットにした誘客対策の実施 ・道の駅米沢を活用した管内観光情報発信の強化による広域周遊、滞在促進対策の実施 ・置賜地域ならではの資源を活用したテーマ性のある誘客対策の実施 ・隣接県域等との連携促進 ・観光案内ガイドのスキルアップ研修への支援 ・インバウンド受入態勢づくりの支援 (本庁予算)
新たな交流を生み出す地域・まちづくり推進事業費(越後米沢街道・十三峠活用整備支援事業)	10 (110)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	・越後米沢街道・十三峠の歴史的価値を高め魅力発信に向けた「越後米沢街道・十三峠交流会」との連携強化
新たな交流を生み出す地域・まちづくり推進事業費(次代に繋ぐ土木史跡活用保全事業)	1,352 (663)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	・土木学会選奨土木遺産「直江石堤」周辺の環境保全及び「万世大路」の案内標識設置等による地域づくりの支援及び推進
総合支庁地域政策推進費(西置賜地域課題解決推進事業)	120 (120)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	・西置賜地域における関係・交流人口の創出に向けた地域資源PRパンフレットの作成による情報発信
計	5,856 (5,267)		

2

「置賜」の持続的発展を支える、活力あふれる地域社会の形成

施策の推進方向と主な取組み

⑤ 結婚支援や妊娠・出産から子育てまでの切れ目のない支援体制の推進

K P I	「置賜地域みんなで子育て応援団」の賛助会員数（累計）					
	基準値（R1年度）： 61 団体					
	指標値	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
	実績値	81 団体	86 団体 (113 団体)	91 団体 (118 団体)	96 団体 (123 団体)	100 団体 (125 団体)
		108 団体	114 団体			

※ 括弧書きは、第4次山形県総合発展計画実施計画に掲げた指標を上回る独自の指標

【令和4年度における課題と対応（前年度からの見直し・新たな取組みの内容）】

（課題）

- ・各市町等の婚活事業の広域的展開や縁結びたい（結婚支援者）活動のさらなる活性化が必要
- ・地域全体で子育てを応援する機運のさらなる高まりが必要
- ・各市町の相談拠点である「子育て世代包括支援センター」の機能充実が必要
- ・発達障がい児や医療的ケア児の地域での支援体制の充実が必要

（対応）

- ・婚活事業における各市町等との連携強化、結婚支援者の交流促進とスキルアップ等支援
⇒各市町等との情報共有の推進、結婚支援者を対象とする研修及び情報交換会の開催、結婚支援者の増員に向けた周知・掘り起し活動
- ・「置賜地域みんなで子育て応援団」活動の積極的展開
⇒専用ホームページ「ウキウキたむたむ」による情報発信の強化、応援団への参加促進
- ・「子育て世代包括支援センター」の機能充実への支援
⇒母子保健担当者の情報交換会、先進事例研修等の開催
- ・関係機関との連携による発達障がい児、医療的ケア児への支援
⇒置賜地域気になる子支援ネットワーク、医療的ケア児支援連絡会による支援策の検討

【令和4年度関連事務事業】

（単位：千円）

事業名	予算額 (前年度)	区分	事業概要
おきたま結婚支援者活動促進事業	150 (0)	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続	・結婚支援者情報交換会の開催 ・結婚支援者研修会の開催 ・縁結びたい人材掘り起し出前講座の実施
子育て県民運動推進費（地域みんなで子育て応援団事業）	270 (270)	<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	・定例会議、情報交換会の開催 ・子育て情報サイト「ウキウキたむたむ」の運営 ・研修・交流事業の実施 (本庁予算)
誰もが安心して暮らせる地域づくり推進事業費（安心子育て支	190 (145)	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続	・気になる子支援ネットワーク会議等の開催 ・支援者向け「ペアレントサポート講座」の開催 ・保護者向け「ペアレントサポート講座モデル

援事業)			実践講座」の開催【新規】
計	610 (415)		

⑥ 幅広い世代が住み慣れた地域で、健康で安心して暮らすための取組みの推進

K P I	医療機関、介護施設、在宅ケアの円滑な調整役となる看護職の養成数 (職場交流研修受講者数)					
	基準値 (R1 年度) : 22 人					
	指標値	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
		—	—	—※	36 人	40 人
	実績値	8 人	0 人			
	置賜発の低栄養予防レシピを学んだ地域住民数 (累計) (食生活改善推進員等による直接伝達人数)					
基準値 : —						
指標値	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	
	—	7,200 人	10,800 人	14,400 人	18,000 人	
実績値	3,822 人	5,492 人				

※ 新型コロナウイルス感染症の対応により、病院看護職の研修実施が極めて困難であり、今年度の状況について見通すことが困難であるため。

【令和4年度における課題と対応 (前年度からの見直し・新たな取組みの内容)】

<p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> 在宅医療や地域包括ケアの推進に向け、病院・介護施設・訪問看護ステーション等、関係機関の連携強化が必要 健康長寿に向けた低栄養予防を推進するためには、高齢者だけでなく若い世代のうちから健康な食生活を促進することが必要 <p>(対応)</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療・介護・在宅ケアの連携強化 <ul style="list-style-type: none"> ⇒看護職を対象とした職場交流研修の実施 (希望があった場合に対応) ⇒病院・介護施設・訪問看護ステーション等の連携強化に向けた医療・介護合同会議の開催 低栄養予防の普及啓発 <ul style="list-style-type: none"> ⇒県立米沢栄養大学等の関係機関と連携した健康な食事、低栄養予防定着のための課題把握と情報発信 ⇒市町食生活改善推進員による伝達、ウェブ活用など効果的な低栄養予防啓発

【令和4年度関連事務事業】

(単位：千円)

事業名	予算額 (前年度)	区分	事業概要
地域医療提供体制の推進(訪問看護体制)	244 (416)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	・スキルアップ研修等による看護師の技術向上支援 ・検討会等による訪問看護提供体制の整備促進 (本庁予算)

誰もが安心して暮らせる地域づくり推進事業費（“おきたま”元気で長生き健康増進支援事業）	106 (106)	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続	<ul style="list-style-type: none"> 健康長寿に向けた低栄養予防対策、生涯にわたる健康な食事の定着強化 働き世代の健康な食事定着に向けた啓発方法の検討【新規】
計	350 (522)		

⑦ 郷土愛を育み、互いに輝きあう地域づくりの推進

K P I	置賜地域の高校卒業者の県内定着率（地元就職率）					
	基準値（H30年度）： 75.0%					
	指標値	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
		76.4%	77.8%	79.2%	80.6%	82.0%
	実績値	74.0%	81.5%			
	置賜の魅力を発信するSNSのフォロワー数					
	基準値（R1年）： 200人					
	指標値	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
		300人	400人 (1,000人)	500人 (1,400人)	550人 (1,700人)	600人 (2,000人)
	実績値	620人	1,010人			
	農山村の元気な地域づくりに向けた行動計画策定地区数（累計）					
	基準値（H30年度）： 8地区					
指標値	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6	
	10地区	12地区	14地区	16地区	18地区	
実績値	10地区	12地区				

※ 括弧書きは、第4次山形県総合発展計画実施計画に掲げた指標を上回る独自の指標

【令和4年度における課題と対応（前年度からの見直し・新たな取組みの内容）】

<p>（課題）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地元の大学・高校等を卒業した若者・保護者に地域企業の魅力が十分伝わっておらず、県外流出につながっている。 ・ 若者の定着・回帰の促進に向けて、若者の地域への愛着・誇りの醸成や若者活動の活性化を図る取組みが必要 ・ 置賜地域への移住・交流を促進するため、市町と連携して首都圏等への情報提供を充実させることが必要 ・ 人口減少や高齢化により農山村地域の集落機能の低下が顕在化しており、現存する有形・無形の豊かな地域資源を活用した取組みなどの活性化に向けた支援が必要

(対応)	
・ 新卒者の県内企業への定着や県外の大学等に進学した者のリターン促進	⇒地元就業を促進するための企業説明会について、引き続き管内3大学の学生及び4実業高校の生徒を対象とし実施するが、コロナ禍にあっても事業を実施できるよう、オンラインを活用した事業内容も併せて検討(再掲) ⇒企業が学校に出向き仕事を模擬的に体験してもらう職業体験会について、より早い段階からの取組となるよう、高校生に加え中学生も対象として実施(再掲) ⇒地元企業の情報に触れる機会の少ない進学校の生徒を対象に地域企業経営者の講演会の開催
・ 若者の地域への愛着や誇りの醸成	⇒高校生、大学生などの若者に地域の魅力体験や地域で活躍する人々と交流する機会をより多く設けるとともに、地域で活動する若者団体間の連携の創出に向けた取組みなどを通して、地域への愛着・誇りの醸成や若者活動の活性化につなげる。 ⇒置賜文化フォーラム(山形県置賜総合支庁、置賜各市町教育委員会、置賜各市町芸術文化協会、置賜教育事務所で組織)において、置賜こども芸術祭の開催や、若手アーティストの魅力を発信する事業を通して、地域との繋がりや愛着の醸成を図る。
・ 置賜地域への移住・交流の促進	⇒移住セミナー「やまがたハッピーライフカフェ」開催等の置賜地域移住交流推進協議会の取組みを通して、置賜地域への移住・交流を促進
・ 持続可能な地域づくりを推進	⇒地域内での話し合いを支援しながら、地域の活性化につながる行動計画づくりに結びつける。

【令和4年度関連事務事業】

(単位：千円)

事業名	予算額 (前年度)	区分	事業概要
地域若者人材確保対策事業費(置賜地域人材確保対策事業)(再掲)	1,224 (674)	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し <input type="checkbox"/> 継続	・ 管内3大学の学生とその保護者及び4実業高校の生徒を対象とした企業見学会(バスツアー)の開催 ・ 中高生を対象とした、職業体験会(ワクワクワーク)の開催 (本庁予算)
人材確保・生産性向上推進事業費(高校生と地域企業との交流事業)(再掲)	96 (96)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	・ 進学校の高校生を対象とした地域の事業者等による地域の企業や就業環境の魅力を伝える講演会等の開催 (本庁予算)
多様な主体による協働推進事業費(若者による置賜の元気創造事業)	582 (519)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	・ 「おきたま元気創造ラボ」による若者の視点で若者の地域への愛着・誇りの醸成や地域活性化の推進(置賜の魅力の発見・発信や若者団体の連携創出に向けた取組みの企画・実践)
置賜文化活動支援事業費	1,387 (1,387)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	・ 置賜管内の3市5町及び文化芸術団体等と連携して運営する「置賜文化フォーラム」を通じて置賜地域の文化芸術活動を支援
芸術文化振興事業費	4,068 (4,068)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	・ 置賜文化ホールで実施する地域の文化創造事業や能楽関係事業への支援
元気な地域づくり支援プロジェクト総合支援事業費	504 (504)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	・ 地域ごとに行う地域づくりのプログラムや実践活動に移行するまでのノウハウを提供 (本庁予算)

がんばる中山間農業・農村省力化パイロット事業費	1,583 (1,583)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	・農地管理の省力化及び農村の担い手育成・確保を支援 (本庁予算)
計	9,444 (8,831)		

施策の推進方向と主な取組み

⑧ 高速交通ネットワークの形成促進

K P I	新潟山形南部連絡道路、一般国道 287 号米沢長井道路の供用率（東北中央自動車道含む）					
	基準値（R1 年度）： 49%					
	指標値	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
	実績値	49%	49%			

【令和 4 年度における課題と対応（前年度からの見直し・新たな取組みの内容）】

<p>（課題）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新潟山形南部連絡道路については、一般国道 113 号梨郷道路（国直轄事業）の令和 5 年度の開通見通しが公表されており、令和元年度に着手した小国道路についても、さらなる事業促進が必要 ・アクセス道路となる一般国道 287 号米沢長井道路（県事業）の整備推進が必要 <p>（対応）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高速交通ネットワークとアクセス道路の整備 <ul style="list-style-type: none"> ⇒梨郷道路の見通しどおりの供用開始及び小国道路のさらなる事業促進に向け、新潟山形南部連絡道路整備促進期成同盟会とともに要望活動や啓発活動を展開 ⇒中期計画期間内における一般国道 287 号米沢長井道路の完成・供用
--

【令和 4 年度関連事務事業】

（単位：千円）

事業名	予算額 (前年度)	区分	事業概要
交通ネットワーク形成促進事業費（置賜道路ネット強化事業）	195 (195)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	・新潟山形南部連絡道路の整備促進を図るための広報、啓発活動、イベント等の開催支援、要望活動への参加
道路改築事業費	660,000 (2,613,300)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	・橋梁工事、道路改良工事、舗装工事 (本庁予算)
計	660,195 (2,613,495)		

⑨ 地域公共交通の充実・確保

K P I	置賜地域における公共交通機関（JRを除く）の一人当たりの利用回数					
	基準値（直近3ヵ年平均）： 4.8回					
	指標値	R2	R3	R4	R5	R6
	実績値	3.2回	3.7回	— ※	4.8回	4.8回

※ 新型コロナの影響により、今年度の動向について見通すことが困難であるため

【令和4年度における課題と対応（前年度からの見直し・新たな取組みの内容）】

<p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナが山形鉄道の経営に与えている影響を勘案しながら、山形鉄道の経営改善計画（R3～7年度）の推進を図ることが必要 ・山形県地域公共交通計画（R3～7年度）の着実な推進を図ることが必要 <p>(対応)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域公共の交通の確保・維持 <ul style="list-style-type: none"> ⇒沿線2市2町とともに、新型コロナが山形鉄道の経営に与えている影響を勘案しつつ、経営改善の取組みを支えとともに、利用拡大協議会を通じて利用拡大に向けた取組みを推進 ⇒山形県地域公共交通計画（R3～7年度）を踏まえ、国・市町・交通事業者等と連携して、バス・デマンド交通などの地域公共交通利便性向上等の取組みを推進

【令和4年度関連事務事業】

(単位：千円)

事業名	予算額 (前年度)	区分	事業概要
フラワー長井線 活性化事業費	36,514 (36,514)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	・フラワー長井線の経営改善を図るため沿線2市2町と連携して財政支援を行うとともに、関係機関とともに利用拡大の取組みを推進
計	36,514 (36,514)		

⑩ 再生可能エネルギーの導入促進による脱炭素社会形成の推進

K P I	小規模な再生可能エネルギーの導入量（累計）					
	基準値（H30年度）： 3,061kW					
	指標値	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
	実績値	3,200kW	6,400kW	9,600kW	12,800kW	16,000kW
		2,628kW (直近値)	—			

【令和4年度における課題と対応（前年度からの見直し・新たな取組みの内容）】

<p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電、バイオマス発電と比較して、導入が進んでいない熱利用設備やV2H等の普及に注力することが必要 ・再生可能エネルギー等の導入促進のための講演会の開催時期を見直し、県の補助金を活用しやすい時期に開催することが必要 <p>(対応)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再生可能エネルギーの導入促進 <ul style="list-style-type: none"> ⇒脱炭素社会実現に向け、産学官金で形成する協議会での情報共有 ⇒再生可能エネルギーの地域での発電導入を促進するための講演会の開催 ⇒各種支援制度の周知 <p>※Web等の活用により開催方法を工夫しながら実施</p>
--

【令和4年度関連事務事業】

(単位：千円)

事業名	予算額 (前年度)	区分	事業概要
環境保全活動推進事業費（環境先進地形成事業）	158 (326)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	・脱炭素社会実現に向けた、再生可能エネルギー等の導入促進を図るための講演会等の開催
計	158 (326)		

⑪ 安全・安心で暮らせる地域づくりの推進

K P I	自主防災組織の組織率					
	基準値 (R1 年度) : 83.3%					
	指標値	R 2	R 3	R 4	R 5	R 6
	実績値	85%	87%	89%	92%	95%
		84.9%	84.8%			

【令和4年度における課題と対応（前年度からの見直し・新たな取組みの内容）】

<p>(課題)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自主防災組織の結成が進んでいない市町があり全体の組織率が低迷。また、コロナ禍により自治会活動、集会等が自粛傾向のため、未組織地域の合意形成が進まない。 ・ 防災担当職員の交替や災害に関する情報の変化等も考慮し、継続した取り組みが必要 ・ ハザードマップの見直し等に伴い対象となる要配慮者利用施設を改めて把握することが必要。また、対象施設に避難確保計画作成等の制度を周知することが必要 <p>(対応)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自主防災組織の組織率向上及び体制強化 <ul style="list-style-type: none"> ⇒市町と連携を図りながら、未組織地区の役員等を対象に結成に向けた検討会を検討する。また、新型コロナウイルス感染症の状況によっては個別に働きかけを実施 ⇒災害に関する情報の変化等を踏まえながら研修会等により応急対応力の向上を図る。 ⇒市町や施設を所管する行政機関、河川管理者等と連携しながら、要配慮者利用施設に係る制度の周知を図る。

【令和4年度関連事務事業】

(単位：千円)

事業名	予算額 (前年度)	区分	事業概要
安全安心地域づくり推進事業費	330 (330)	<input type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 見直し <input checked="" type="checkbox"/> 継続	<ul style="list-style-type: none"> ・ 災害時の被害最小化を図るため、地域防災力の核となる自主防災組織の育成・強化、災害に強い防災体制の整備 ・ 市町防災・災害復旧担当職員等を対象にした災害時の応急対応力向上や課題・ノウハウの共有のための研修会の開催
計	330 (330)		